

普及活動情勢報告（平成29年8月分）

高吾農業改良普及所

はちきんの店の生産者対象に勉強会を行いました。



7月26日、JAコスモス直販所「はちきんの店」が青果物の出荷者を対象とした栽培講習会を開催し、10名が参加しました。普及所は「出荷時期の工夫」や「農薬の取り扱い方法」を中心に説明し、参加者からは「できるだけ農薬を使わず病害虫防除をしたい」「とうもろこしの出来がだんだん悪くなってきた」などの質問が出ました。直販所への安定出荷を確保するため、講習会後は直売所向きの種の販売会も併せて行われました。

これからも普及所は講習会等を通じて青果物の品質向上や安定運営のため支援していきます。

新規就農者向け農業基礎講座「高吾えいのう塾」スタート



新規就農者や農家研修中の就農希望者を対象とした農業基礎講座「高吾えいのう塾」が、7月25日に開講し、6名の参加がありました。

初回の「農業全般」では普及員が講師を務め、就農にあたっての農地や品目選びのポイント、基本的な用語の解説、各相談窓口の紹介などを行いました。参加者らは熱心に耳を傾け、概ね理解されていました。

今後も普及所では、「土づくりと施肥」「病害虫と農薬」「農業経営」等のテーマで10月まで月1回講座を開催します。

集落営農塾（法人経営コース）を開催しました



8月1日、普及所は日高村の集落営農組織「沖名集落法人」を対象に講師を招いて集落営農塾を開催しました。営農塾にはメンバー10名と関係機関が参加し、「集落営農ビジョンと事業戦略等の作成」について講義を受けました。参加者からは「組織として継続するためには、新たな品目の導入を検討しつつづけていかねばならない」との意見が出るなど有意義な会になりました。

普及所は、地域の農地を守るためにも、今後も集落営農組織等の活動を支援していきます。

JAコスモス佐川イチゴ部会が園めぐりを行いました



JAコスモス佐川イチゴ部会では、育苗状況の確認と共有のため「園めぐり」を実施しています。今年は8月16日に開催し、部会員15名が参加して4戸の育苗床を巡回しました。現地では炭そ病防除や育苗期の施肥について意見交換がありました。JAと普及所からは農薬の適正使用や天敵（カブリダニ類）を利用したIPM防除について説明しました。近年は天敵の導入ほ場も増えています。

普及所は今後もイチゴ栽培における病害虫防除技術の向上と普及を支援していきます。

露地ニラの収穫が始まりました！



露地ニラは高齢者や中山間地域でも栽培できる品目です。高吾地区は県内でも露地ニラ栽培が多く、栽培面積の3割近くを占めています。今年は少雨の影響で生育が遅れていましたが、8月にはいり本格的に収穫が始まりました。

8月4日、JAコスモスニラ生産部定例会の中で目慣らしがありました。例年に比べ病害虫や葉先枯れが多く、普及所は防除と出荷調製の徹底を呼びかけました。

普及所は今後も露地ニラの安定生産と技術向上を支援していきます。